

相談先一覧

トランスジェンダーに関する医学的相談

♣ NPO 法人関西GIDネットワーク

<http://www.kgn.or.jp/>

性的マイノリティ当事者やその周囲の人たちの相談窓口

♣ NPO 法人QWRC

QWRC 電話相談

TEL.06-6585-0751 ※第1月曜19:30~22:30

LGBTと医療福祉〈改訂版〉

<http://qwrc.org/2016iryofukushicmyk.pdf> (無料)

性的マイノリティ当事者やその周囲の人たちの相談窓口

♣ 大阪市淀川区

LGBT 電話相談

TEL.0570-009-918 ※第1~4水曜17:00~22:00

コミュニティスペース

当事者を含めたすべての人が安心して集まれるスペース

※月2回開催 内1回は個別相談も実施しています

開催日程、場所等は下記リンクをご参照ください

<http://niji-yodogawa.jimdo.com/>

性別や同性愛などセクシュアルマイノリティに関する相談

♣ よりそいホットライン

TEL.0120-279-338 ※フリーダイヤル 24時間対応

♣ AGP

電話相談 こころの相談

TEL.050-5539-0246 ※毎週火曜 20:00~22:00

HIV/AIDSを含む性感染症に関する相談

♣ コミュニティセンターdista(MASH大阪)

<http://www.dista.be/>

HIV/AIDSに関する相談 (来所予約等を含む)

♣ ぷれいす東京

<http://www.ptokyo.org/consult/servicedirectory>

LGBTの薬物依存に関する電話相談

♣ 大阪ダルク

毎週月曜~土曜 10:00~17:00

TEL.06-6323-8910 (10:30~11:30、14:00~15:00を除く)

薬物依存に関する相談

♣ Freedom薬物依存電話相談

毎週土曜 15:00~19:00

TEL.06-6320-1196

LGBT当事者の方へ

LGBT当事者を含む、すべての人が安心して医療を受ける権利を持っています。自分の性に関することについて、伝えても伝えていなくても、それは変わりません。また、あなたのプライバシーは守られるべきものです。たとえひとつの病院が自分に合わなかったとしても、諦めないでください。医療機関の中にも、LGBTの健康のために、懸命に取り組んでいる方が沢山います。もし不安に思うことがあれば、まずは一度、相談してみてください。

医療従事者の方へ

LGBTなどの性的マイノリティは、5~8%日本に存在していると言われています。少なくみても20人に1人は当事者ということになります。決して少ない数字ではありません。診察時も「ご主人、奥さん、彼氏、彼女」といった、性別を特定するような言葉ではなく「パートナー」と統一することで、当事者は「理解がある方なのでは」と思います。何気ない日常の一言を意識することから、LGBTについて考える一歩にしていただければ幸いです。

誰もが安心して受けられる医療をめざす

大阪市淀川区では、平成25年9月に全国行政機関初の「LGBT支援宣言」以降、「淀川区LGBT支援事業」として専門電話相談、コミュニティスペースの設置、意見交換会、教職員向けLGBTハンドブック作成などを展開しています。多くのLGBT当事者の声を聞くなかで、特に医療現場での困りごとを抱えている人が多いことに気がきました。本書では医療者側、LGBT当事者側の現状を知り、それぞれの思いを共有することを目的にしています。お互いの気持ちを知ることが、「誰もが安心して受けられる医療」への第一歩になれば幸いです。

協力 (敬称略、順不同)

康 純	大阪医科大学 神経精神医学教室 准教授
織田 裕行	関西医科大学総合医療センター 精神神経科 助教
谷口 恭	太融寺町谷口医院 院長
藤井 ひろみ	神戸市看護大学大学院 准教授
田村 凌	にじいろナースネット 共同代表
田口 カイ	LGBTの家族と友人をつなぐ会 神戸スタッフ
桂木 祥子	QWRC
内藤 れん	れいんぼー神戸

発行	淀川区役所
編集	虹色ダイバーシティ・QWRC 共同体
問合せ先	淀川区役所市民協働課
電話	06-6308-9734
FAX	06-6885-0535
メール	tl0002@city.osaka.lg.jp
HP	https://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/page/0000590076.html